

2001年11月以降に東京都健康長寿医療センターにおいて病理解剖

をお受けになった患者様のご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

東京都健康長寿医療センターでは東北大学と共同で「剖検例を用いた視床下部・下垂体・副腎系の細胞老化および形態学的変化に関する検討」を実施しております。

ストレス時に視床下部-下垂体-副腎皮質系が活性化される事で分泌される副腎ホルモン(コルチゾール)の慢性的過剰状態では、加齢とは関係なく暴露される細胞のDNA損傷等の障害が起き、細胞老化が促進されることが知られています。細胞老化とは増殖していた細胞が刺激を与えられても細胞分裂しなくなった状態であり、細胞老化に陥った細胞(老化細胞)の蓄積は様々な疾患(副腎腫瘍など)の発症と関連していると考えられています。

過去に東北大学が行った比較的少数の剖検例を用いた全身諸臓器での細胞老化マーカーの発現を検討する予備実験では、老化細胞が年齢、疾患に関わらず認められるのは副腎皮質および下垂体組織である可能性が示唆されました。このため、本研究では視床下部-下垂体-副腎皮質系における細胞老化マーカーの発現について、東北大学と共同で多数の病理解剖例を用いて上記の予備実験の検証を行う予定です。

具体的には2001年11月以降に東京都健康長寿医療センターで病理解剖された方が研究の対象となります。病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を承りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「ヒト疾患における細胞老化と病理病態との関連性」「承認番号：第 番」(は承認後に記入)

研究期間：承認後～2024年6月

研究責任者(所属・職名・氏名)

東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野・教授

笹野 公伸

研究分担者(所属・職名・氏名)

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長

新井 富生

(2) 研究の意義・目的について

本研究では、視床下部・下垂体・副腎系における細胞老化に関与するマーカーを調べる事

により、内分泌系疾患の病態病理と細胞老化との関連性を検討し、難治性疾患や治療法の少ない腫瘍等の診断法や治療法の研究開発を目的とします。

(3) 研究の方法について

剖検施行時に切除された組織(視床下部・下垂体・副腎系)について、病理組織標本を作製し、細胞老化に關与するマーカー(p16, p21 など)の発現を検討します。本研究に使用する東京都健康長寿医療センターの病理解剖例は 2001 年 11 月以降に施行された 50~60 例を予定しています。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者様の個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後、5 年間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東北大学の所定の場所で、厳重に保管します。

(5) 問い合わせ先

東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 笹野公伸 職名：教授

〒980-8575

住所 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL 022-717-8050 FAX 022-717-8051

E-mail hsasano@patholo2.med.tohoku.ac.jp

研究事務局：

東北大学医学系研究科 山崎有人 職名：助教

〒980-8575

住所 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL 022-717-8050 FAX 022-717-8051

E-mail y.yamazaki@patholo2.med.tohoku.ac.jp